

1 書面会議の意見募集による意見・質問について

- ・書面会議の意見募集期間（9月11日～20日）にいただいた意見・質問は、1名の方から下記の2件について、寄せられました。意見・質問の内容と回答は次の通りです。

議案番号	意見・質問等	回 答
報告事項	総会資料p22の研究支援部会の報告に、「・・・、Jステージへの掲載は承認された。」とあるが、掲載先の表記が誤っている。また、これだけでは意義や内容が伝わらないと思う。	ご指摘の通り、表記については、次の通りに修正します。 「Jステージへの掲載は」は、「J-STAGEへの掲載は」に修正します。
3	事業計画（案）には、本件（J-STAGE）の位置づけや今後の運用方針についての言及がない。	学会誌に掲載した論文を、「J-STAGE」に掲載することは、研究活動への支援の一環として位置付けている。 ご意見を踏まえ、事業計画（案）の「Ⅲの3 研究活動への支援」の項に、次の一文を追加する。 「会員の研究成果を広く知ってもらうため、学会誌に掲載し研究論文・研究ノートを「J-STAGE」に掲載することを進め

2 Zoom会議による意見交換会における意見・質問について

- ① ・「Zoom会議による意見交換会」（9月26日（土）13時から開催）においては、第1号議案から第6号議案までの議案すべてにおいて参加された会員の方からはご意見ご質問はありませんでした。 但し、事務局より第3号議案2020年度自治体学会事業計画（案）
 - 1 書面会議の意見募集による意見質問についての回答の説明があり、議案の差替えを行う旨の説明がありました。
- ② ・監査意見及び学会運営課題への対応策に関連して、会員1名から次のような意見・質問があり、部会長及び事務局から回答がありました

Q 会員からの意見・質問

 - ・監査意見及び学会運営課題について対応策に異論はない。リモートの活用による予算の見直しとともに、中期事業計画の見直し

早めに見直しができればよい。一堂に会する大会とは別に、リモート大会を行うメリットがある。各地域の活動もリモートの活用によって、地域の枠にとらわれない交流が広がるのではないか。

A 事務局からの回答

・今回のWEB大会にかかる決算については早めに報告したい。事業計画案にも示しているとおりオンラインは今後活用していくと思う。ある地域の自治体学会活動ではオンラインによる取組が始まっており、その成果を学び、自治体学会全体でノウハウ共有してほしいと考えている。

A 地域支援部会長からの回答

・部会として、オンライン活用の支援について検討していきたいと考えている。

A 企画副部会長からの回答

・10月10日のオンライン大会に向けて準備を進めている。

- ③
- ・報告事項については、各部会長、事務局より報告がありましたが、特に質問等はありませんでした。
 - ・金井理事長より、2021年度の開催地について、8月20日（金）21日（土）の日程で自治体政策研究交流会議と自治体学会川崎大会を予定であること、また2022年度は熊本市と協議中との報告がありました。

た
る。」

について

た。

も

ことに
ウを

実施する